

平成 30 年度

公益財団法人 伊藤青少年育成奨学会 スポーツ振興支援事業・地域振興支援事業 被支援団体一覧

1 スポーツ振興支援事業被支援団体

(1) 高等学校・特別支援学校運動部

No	学校	部	選定コメント	支援金額
1	長良高等学校	水泳部	水泳部としては県下最大の部員数を有し、初心者から経験者までよく努力。県内公立高校普通科の中では優秀な成績を収め、全国高校総体や国体への出場の可能性が高い選手が育ってきている。近隣の高校など合同練習を行い更なる記録の向上に取り組んでいる。	720 千円
2	岐阜総合学園 高等学校	硬式野球部	あと一歩で県代表を狙えるレベルまでチーム力が向上。甲子園を目指すと同時に学ぶ者の野球・心の野球を目指している。単に技量や力量の向上ではなく、マナー面でも成長できるように取り組んでいる。	1,000 千円
3	県立岐阜商業 高等学校	女子バスケット ボール	全ての県大会において、5 年間 15 大会連続で準優勝。3 年連続で全国高校選手権大会に出場した。昨年は全国大会で 1 勝。今年度も全国高校総体、全国選抜大会出場を目指し、日々チーム一丸となり取り組んでいる。	370 千円
4	県立岐阜商業 高等学校	サッカー部	他の部活動との関係で、校内グラウンドを使用できないため、校外のグラウンドを借用し活動。移動時間や道具の運搬などを要す環境下で、U-18 岐阜県リーグに参加し、上位進出に向け懸命に努力している。	400 千円
5	県立岐阜商業 高等学校	水泳部	選手は日々文武両道を目指して練習に励んでおり、学業トップクラスが在籍。オリンピックメダリストからの指導を仰ぎ、意識も高まり、競技力を向上させている。	600 千円
6	岐阜各務野高 等学校	バドミントン部	かつてはインターハイや東海大会にも出場した古豪。しかし、13 年前の学校統合で、一時、部員は減少。近年は部員増加し、意欲的に取り組む者が増えている。	260 千円
7	本巣松陽高等 学校	陸上競技部	近年、平日 2~3 時間、休日 3 時間での練習で力をつけてきている。現在の部員は 46 名に増加。昨年は、5 名の選手が県大会で上位入賞し、東海大会へと駒を進めた。	590 千円
8	岐阜農林高等 学校	相撲部	3 年前に創部 100 周年を迎えた伝統ある部。途中、廃部の危機にあったが、この 10 年は県大会 10 連覇や東海大会優勝、全国大会 5 位入賞の成績をあげている。	340 千円
9	羽島高等学校	硬式野球部	部員が少なく大会参加にも苦慮している状況にあるが、選手は非常に前向き。「公式戦 1 勝」を目標に、少人数ながら効果的な練習に取り組んでいる。また、野球部員が、本校生徒の規範となって、学校だけでなく地域からも応援される部になることを目指している。	870 千円
10	揖斐高等学校	硬式野球部	来年 100 周年を迎える歴史と伝統ある高校。野球部は、平成 26 年度に全国高校選手権大会でのベスト 16 が最高。野球部の活躍が、学校全体の活力に繋がるだけではなく、地域活性化にも寄与している。	870 千円

No	学校	部	選定コメント	支援金額
11	池田高等学校	女子バレーボール部	創部4年目。現在、部員は14名で活発に活動。池田町では、小学生から社会人、ママさんバレーチームがあり、部活動を充実させ、池田町に貢献できるよう活動している。	440千円
12	大垣北高等学校	バドミントン部	45名の部員を有し活発に活動。平日は、2時間、休日は3時間の練習時間で効果的な練習を実践している。昨年度は、県総体男子団体に3位になり東海総体出場を果たしている。	440千円
13	大垣南高等学校	フェンシング部	部員は過去最高数の61名。昨年は全国高校総体や全国選抜において、見事、男女団体3位を獲得した。	890千円
14	大垣東高等学校	剣道部	「仰峯不屈」の校訓の下、社会のリーダーを目指すにふさわしい人間の育成を教育方針としている。剣道部では、高度な学力と実践力を身につけるとともに、礼儀作法、コミュニケーション能力の育成を心掛けている。	700千円
15	大垣東高等学校	硬式野球部	他部とグラウンドを共有しているため、近隣の球場を借りながら練習をしている。部員は毎朝、学校のトイレほか掃除を実施。また、年末には地域の清掃活動を行い、学校、地域への貢献を目指して活動している。	900千円
16	大垣商業高等学校	陸上競技部	昨年、U-18日本陸上選手権において、男子110mHで7位に入賞。愛媛国体でも県高校歴代2位の記録を達成した。さらに、昨年の県新人戦では男子総合優勝するなど力をつけている。	590千円
17	大垣商業高等学校	なぎなた部	なぎなた部は、文武両道のもと、礼節を重んじ人間形成の向上を目標に日々の練習に取り組んでいる。平成28年度全国高校選抜大会で男子個人3位、平成30年6月に行われた東海総体では女子団体2位など成果を上げている。	300千円
18	大垣商業高等学校	体操部	学校では練習環境が不十分なため、5km離れた施設で練習。2年連続で国体出場を逃しているが、今年は、部員が増え、出場に期待がかかる。	960千円
19	大垣商業高等学校	硬式野球部	現在、部員43名。昨年、全国高等学校野球選手権岐阜大会でベスト4。今年も甲子園を目指して日々練習に励んでいる。	700千円
20	大垣商業高等学校	弓道部	「全国制覇」を合言葉としながら、弓道を通じた仲間との協調性と、より良い人間性を身に付けることを目標に、日々励んでいる。	620千円
21	不破高等学校	弓道部	過去に全国大会出場を経験。古豪復活を目指すなか、部員も年々増え、今後に期待が持てる。	820千円
22	郡上高等学校	剣道部	全国高校総体で表彰台にのぼることを目標に取り組んでいる。また、部が結果を残すことで、地域に活力が出るように努力している。	630千円

No	学校	部	選定コメント	支援金額
23	加茂高等学校	ボート部	昨年は、全国高校総体、全校選抜で優勝。先輩には日本代表選手も輩出している。	1,000 千円
24	八百津高等学校	カヌー一部	平成元年創部。カヌーで八百津町を活性化することを目標に、昨年から卒業生と連携を図り、小学生以上を対象にした「八百津ジュニアカヌークラブ」を設立。地域の活性化にも繋がっている。	800 千円
25	東濃実業高等学校	卓球部	部員数は 24 名。日々の練習で、自ら課題を発見し、解決するための努力ができる力を育てることを心掛けている。また、仲間と共に技術を磨き、向上できるよう活動している。	300 千円
26	東濃実業高等学校	陸上競技部	陸上競技は多種にわたるが、専門練習を徹底することにより技術の向上を図っている。また、高校生としての基本的な生活習慣の確立や人間形成を高める指導を心掛けている。昨年は、全校選抜大会出場や東海高校総体に出場した。	590 千円
27	可児工業高等学校	ハンドボール部	部員は 33 名。多くが未経験者ながら、向上心とやる気は非常に高く、積極的に練習に励んでいる。目標は、過去最高成績の県大会ベスト 8 を超えること。	300 千円
28	多治見工業高等学校	卓球部	部員は 20 名ながら、卓球好きが集まり、「卓球を好きな生徒が、決められた時間、一生懸命活動する」を掲げ、日々熱心に活動している。	390 千円
29	土岐紅陵高等学校	弓道部	「県大会団体ベスト 8」「審査受審・合格」を目標に掲げ日々、励んでいる。昨年の新人戦では、あと一步というところで惜しくも県大会出場を逃した。審査では、1 級～初段に合格している。	300 千円
30	中津高等学校	硬式野球部	軟式野球部から硬式野球部となり 10 年目。県大会では、これまでに 1 勝しかあげておらず、次の 1 勝を目指して日々、励んでいる。また、地域に応援してもらえるチームを目指している。	1,000 千円
31	中津商業高等学校	スケート部	部員数は少なく高校生からスケートを始める者が多くなか、全国を目指し、昨年は、国体で男子 10000m 優勝(二連覇)、入賞をはじめ、活躍。また、一人の人間として成長を促し、挨拶や礼儀、言葉遣い等を徹底している。	350 千円
32	中津商業高等学校	ソフトテニス部	部員は 29 名。男女ともに、毎日ひたむきに練習に励んでいる。目標は全国高校総体出場とし、精力的に活動している。平成 26 年は全国出場。昨年は、東海選抜に出場した。	200 千円
33	益田清風高等学校	陸上競技部	陸上部は、地域の特徴活かし、生徒を育てることを目的に活動を行っている。昨年は、全国高校総体、国体、全国駅伝に出場した。	980 千円
34	斐太高等学校	弓道部	近隣の公共施設で練習。冬場は大雪で移動が困難になるが、生徒は前向きに練習に取り組んでいる。昨年は、地区大会を突破し県大会に出場。	460 千円

No	学校	部	選定コメント	支援金額
35	飛騨高山高等学校	硬式野球部	創部 21 年目で部員 50 名を有す。前身の飛騨農林高校時、軟式野球部の生徒・保護者らが硬式野球部を設立した。また、部員は、校内清掃やボランティア等を率先して行っている。	740 千円
36	飛騨神岡高等学校	登山部	県内唯一の登山部。過去には全国高校総体で入賞。競技だけではなく、厳しい山の環境や広大な自然に触れることで、精神的な成長を目指す。昨年は、東海総体で男子が入賞を果たした。	210 千円
37	飛騨神岡高等学校	男子バスケットボール部	全校生徒 200 名のうち、バスケットボール部の部員数は 14 名。バスケットボール部員が、学校の顔となれるよう、生活の一つ一つを大切に、人間性を高めていくことを目標としている。	240 千円
38	市立関商工	男子バスケットボール部	部員 53 名を有し、県大会ベスト 8 を目標に活動。昨年の県選抜での 2 回戦敗退から、現在、ゲーム中のデータを収集・分析し練習。さらに、部員の体調管理やオーバートレーニングによる怪我の防止にも配慮している。	540 千円
39	岐阜聾学校	男子バレーボール部	東海地区聾学校バレー大会の優勝、全国障害者スポーツ大会への参加を目標に日々努力している。コートが半面しか使用できないなど、限られた条件下で、効果的な練習に取り組んでいる。	300 千円
40	関特別支援学校	シーズンスポーツ部	主にヨーロッパで生まれた障がい者スポーツ・ポッチャに取り組んでいる。昨年、ドバイで開催されたアジアユースでは、卒業生が、日本代表として活躍し。東京パラリンピックでの公式種目となっており、代表出場を目指した取り組みを志向している。	180 千円
41	東濃特別支援学校	卓球部	知的障がいと肢体不自由者それぞれの大会での優勝を目指し活動。部員は 14 名、障がいの程度差が大きく技能にも差があるが、皆、卓球が好きで、楽しみながら練習に励んでいる。	130 千円
42	恵那特別支援学校	バスケットボール部	中等部と高等部が合同で練習を行っており、全国大会出場を目標に活動している。岐阜県選抜チームに選出される部員も在籍し、技術も向上。過去には、県特別支援学校バスケットボール大会で 2 位に輝いたこともある。	230 千円
43	恵那特別支援学校	バドミントン部	部員のほとんどが、入学してからバドミントンを始める。皆、バドミントンが大好きで、楽しみながら練習に励んでいる。	20 千円
44	済美高等学校	陸上競技部	グラウンドが狭いため、工夫して練習している。これまでに 9 年連続全校高校総体出場。県総体でも女子総合 9 年連続 2 位以上の実績を収めてきた。また、1600mR は岐阜県記録を樹立した。	500 千円
45	岐阜聖徳学園高等学校	ラグビー部	ラグビーを通じて、様々な人や価値、場面に出会い、多くの経験を積み重ねるなかで、人格の形成や豊かな人生を創造することのできる態度を育成することを使命としている。	990 千円
46	岐阜第一高等学校	自転車競技部	男女共修に伴い、女子が 5 名入部し部員数は 25 名。全員が初心者ながら、練習に励み、昨年は、女子がジュニアオリンピックカップ(最優秀選手賞)を獲得した。	490 千円

No	学校	部	選定コメント	支援金額
47	美濃加茂高等学校	女子バレーボール部	「美濃加茂から全国の舞台へ」を目標に日々努力を重ねている。昨年は、県新人戦でベスト8を果たした。仲間の大切さや感謝の気持ちを常に意識させ、礼節を重んじている。毎朝、校内清掃を行い学校の顔となれるよう精進している。	390 千円
48	麗澤瑞浪中学高等学校	中学高校テニス部	中学生男女55名、高校生男女35名で活動。男子中学生では、5年前には全国大会に出場。男子高校生では昨年、東海高校総体に出場。女子も中学生、高校生ともに東海大会に出場している。	310,千円
49	中京学院大学 附属中京高等学校	ボクシング部	現在、男子14名、女子2名の計16名で活動。全国高校総体はライト級3位、ライトフライ級ベスト8、全国選抜では、ライトウェルター級3位、ライトウェルター級出場と全国大会で常に上位の成績を収めている。	120 千円
50	城南高等学校	バドミントン部	部活動では、環境を整え活動を定着させ、部活を通じた人間育成を行っている。	410 千円
計	39 校	50 部		26,480 千円

(2) スポーツイベント

No	団体	イベント	支援金額
1	岐阜県ラグビーフットボール協会	2018 岐阜県ラグビー祭を4月に長良川球技メドウで実施	1,000 千円
2	平成30年度全国高等学校総合体育大会岐阜県実行委員会	岐阜県で、空手道、ボクシング、ホッケー、カヌー、アーチェリー競技を開催	1,000 千円
3	岐阜県カヌー協会	第1回全国カヌースラロームジュニア揖斐川大会開催	600 千円
4	各務原ラグビースクール	大型テント、草刈機、AED等	1,000 千円
5	恵那市陸上競技協会	第14回恵那市ジュニア陸上記録会開催	100 千円
計	5 団体		3,700 千円

2 地域振興支援事業

(1) 高等学校・特別支援学校文化系部

No	学校	部	選定コメント	支援金額
1	岐阜高等学校	吹奏楽部	県吹奏楽コンクールでは8年連続金賞受賞、東海大会銀賞。また、アンサンブルコンテストでも東海大会出場を果たす。学校行事や野球応援、岐阜盲学校の文化祭での演奏など、大会以外でも活躍の場を広げている。	1,000 千円
2	岐山高等学校	吹奏楽部	校内最大の部員数を抱え、毎年周囲からの多くの支援を得ながら、大会や学校行事、地域での活動を行っている。今年は、大編成での夏のコンクール挑戦、冬のアンサンブルコンテストでの東海大会出場を目標としている。	1,000 千円

No	学校	部	選定コメント	支援金額
3	岐山高等学校	地学物理部	長年、各班が地球科学分野や物理分野などの研究活動に取り組み、近年は天文分野での活動が中心。地質班は、「岐阜県関市周辺に分布する軽石層の起源」に関して、関市及び岐阜市の地域地質を精力的に研究。全国大会や学会で発表を行っている。	450 千円
4	岐阜総合学園 高等学校	吹奏楽部	今年度の目標は、「地域に根ざした活動と、コンクールは上位入賞をめざし、充実した活動を行う」。毎年、「伝える演奏」をモットーにより高いレベルをめざして切磋琢磨。また、地域のイベントやボランティア活動にも積極的に参加している。	670 千円
5	県立岐阜商業 高等学校	吹奏楽部	吹奏楽・マーチング活動を両立させ、岐阜県代表として東海・全国大会へ連続出場を果たす。地域行事、地元小・中学校の芸術鑑賞会、さらには吹奏楽講習会でのモデルバンド参加など、吹奏楽団として好評を博している。	1,000 千円
6	各務原高等学 校	書道部	岐阜県展と岐阜県総合文化祭での優秀賞、各務原市展での3年連続優秀賞を目標にしている。また、書道パフォーマンスでは、文化祭や柳ヶ瀬の大会、大垣市や各務原市のイベント等の参加、障がい者施設の慰問等へ積極的に参加する予定である。	280 千円
7	各務原西高等 学校	吹奏楽部	昨年度から「響鳴」をテーマに活動。東海吹奏楽コンクールへの出場を目標に、お互いの技術向上に切磋琢磨している。日々の活動にPDCAサイクルを取り入れ、その日の反省を共有して翌日の練習で改善を図っている。	980 千円
8	岐阜各務野高 等学校	吹奏楽部	今年7名の新入部員を迎えて17名となり体制が整ってきたことから、校外の催しへの参加を検討している。	290 千円
9	岐阜農林高等 学校	環境プロジェク ト部	平成25年より、本巣市教育委員会主催の「船木山古墳群の測量・埋蔵物調査」と「ふるさとロマンプロジェクト」へ参加。また、北方町内のCO ₂ 濃度測定調査や糸貫川・天王川植生調査、糸貫川蛍保存活動など、地域活動に積極的に参画している。	240 千円
10	大垣養老高等 学校	吹奏楽部	「一心音楽」を合言葉に毎日熱心に活動。生徒の自主性と規律を重んじ、「挨拶、返事、掃除」に力を入れている。養老町内を中心に地域での演奏も活発に行い、昨年度は「養老改元1300年祭」関連のイベントにも多数出演した。	600 千円
11	大垣養老高等 学校	農業研究(環境 園芸)部	学校行事や各種イベントで、フラワー装飾や農作物の栽培と販売活動を実施している。昨年開催された「養老改元1300年祭」における瓢箪イルミネーションでは、その中心となって地域の幼児、児童・生徒、企業や各種団体を巻き込み、成功裏に終えることができた。	350 千円
12	大垣商業高等 学校	吹奏楽部	3年前から野球応援に力を入れ活動。愛校心を育み、集団がひとつになって熱狂することを大切に、選曲や楽器編成、配置にこだわり、全国で一番の野球応援となるべく励んでいる。また、コンクールや定期演奏会、地域行事にも積極的に参加している。	700 千円
13	大垣商業高等 学校	ワープロ部	3000字程度 of 原稿を10分で何文字正確に打てるかを競う大会に出場している。全国大会出場、各種大会での上位入賞を目標に、部員一丸となって練習に励んでいる。	300 千円
14	大垣商業高等 学校	書道部	岐阜県美術展や大垣市展をはじめ、高文連や大学の書道展への出品を目標に日々活動している。作品制作だけにとどまらず、書体の変遷や筆・墨の製造過程を学んだり、互いの作品を鑑賞しあったりして、書に対する造形を深めることも大切にしている。	200 千円

No	学校	部	選定コメント	支援金額
15	大垣桜高等学校	合唱部	創部 33 年目の伝統ある部。今年の全国総合文化祭へ岐阜県代表として出場予定。実習や検定が多くなかなか練習時間を確保するのが難しい中、「共桜麗歌」を目標に掲げ、効果的な練習方法を探求しながら、日々練習に励んでいる。	300 千円
16	武儀高等学校	吹奏楽部	聴く人に喜んでいただける音楽を目指し、部員一人一人が切磋琢磨しながら、熱心に活動している。大会への出場に加えて、ツアーオブジャパン美濃ステージ、産業祭、乳幼児教室、成人式など地域のイベントや美濃市が主催する行事等にも積極的に参加している。	1,000 千円
17	関有知高等学校	吹奏楽部	部員数は 12 名と少ないが、吹奏楽コンクールに向け、向上心をもって練習に取り組んでいる。また、入学式・卒業式などの学校行事、保育園や特別養護老人ホームでのボランティア演奏、野球部の応援演奏など様々な場所で演奏をしている。	840 千円
18	加茂高等学校	吹奏楽部	全日本・中日吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテスト等の各種大会への出場のほか、他校(高校・大学等)との合同練習、校外での依頼演奏活動に参加している。心に響く音楽を目標に、積極的に出向いて演奏することを計画中である。	800 千円
19	東濃実業高等学校	箏曲部	岐阜県代表として7年連続での全国高等学校総合文化祭出場が決定。部員は全国大会での上位入賞目標に、指から血をにじませるほどの努力をしている。地域での演奏も積極的に実施している。	600 千円
20	可児工業高等学校	機械システム部	ロボットの製作とプログラミングの改良に試行錯誤して取り組んでいる。WRO(自律型ロボットによる国際的なロボットコンテスト)の東海地区大会に参加し、全国大会出場を目標に取り組んでいる。	80 千円
21	多治見高等学校	科学部	科学館のイベントに出展し、来館する子どもたちに実験工作指導を行っている。一昨年度から「熱音響現象」の研究に取り組み、上位入賞を果たす。全国高等学校総合文化祭には、3年連続での出場が決定している。	310 千円
22	多治見工業高等学校	吹奏楽部	県内唯一のビッグバンドとして 8 年前より活動している。地域の皆様に感謝の気持ちが少しでもたくさん届くよう、地域の憧れとなれるようなバンドを目指し、練習を重ねて演奏演出のレベルアップを図っている。	600 千円
23	土岐紅陵高等学校	吹奏楽部	コンクールやアンサンブルコンテストなどの大会出場のほか、校内の諸行事での伴奏、公民館やこども園、小学校、東濃特別支援学校などの交流活動、お祭りの賛助出演など、地域での演奏活動に取り組んでいる。	550 千円
24	中津高等学校	ギター・マンドリン部	東海大会、全国大会への参加を目標に、クラシック曲を高い完成度で演奏することを目指している。基礎的な練習を大切に、部員同士で教え合うなど切磋琢磨に努めている。懐かしい唱歌や懐メロをレパートリーに加え、地域演奏で活躍している。	670 千円
25	中津川工業高等学校	吹奏楽部	吹奏楽コンクールおよび夏に開催されるコンサートに向け練習に取り組んでいる。地域の催し物などの依頼演奏にも積極的に参加し、地域に親しみをもってもらえるように活動している。	960 千円
26	吉城高等学校	吹奏楽部	県大会出場を目標に掲げ、15 名という少人数ながら連日練習に励んでいる。各種コンクールへの参加、文化祭の演奏に加えて、吉城特別支援学校、定期演奏会等、「地域に根付いた地域に愛される地域に貢献できる学校」の一翼を担い活動している。	560 千円

No	学校	部	選定コメント	支援金額
27	市立関商工高等学校	吹奏楽部	今年で創部 57 年を迎え、大会参加だけでなく、地域行事や近隣学校からの依頼演奏にも積極的に取り組んでいる。演奏を聴きに来てくださる方々に、たくさんの笑顔と感謝の気持ちを演奏で伝えられるよう日々精進している。	600 千円
28	岐阜聾学校	文化部	美術・手芸・音楽グループに分かれ、それぞれが興味のある活動を中心に自分自身の考えや内面を表現しようと日々、真面目に制作に取り組んでいる。美術グループでは、写真の基礎を学びながら、ぎふ美術展や様々な写真コンテストにも出品していきたいと考えている。	300 千円
29	飛騨吉城特別支援学校	文化部	文化部は、障がいのある生徒の個性豊かな芸術性を伸ばさせるべく、音楽、文化、美術に関する活動の成果を学校祭や地域の行事で発表をしている。今年は、学校祭や市民コンサートで合唱・合奏を披露するほか、絵画・貼り絵・立体作品の作成などを行う予定である。	300 千円
30	鶯谷高等学校	ロボットサークル部	プログラミングしたロボットの動きを競う「ロボカップ」で、昨年あと一步の所で逃した全国大会出場を目指している。プログラミング能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の育成に向けて取り組んでいる。	200 千円
31	鶯谷高等学校	競技かるた部	創部5年目。経験者がいないなかで熱心に練習に励んでいる。昨年度は団体戦で岐阜県大会に優勝し全国大会へ出場を果たした。今年度は、全国大会での決勝トーナメント出場を目指している。	100 千円
32	鶯谷高等学校	音楽部	音楽部には合唱・器楽・軽音楽の3つのグループがあり、その中でも器楽は今後吹奏楽として規模を拡大したいと考えている。今年度は、吹奏楽でアンサンブルコンテスト岐阜地区大会に金管と木管の編成で銀賞、管楽器個人・重奏コンテストで金賞を目指す。	800 千円
33	岐阜第一高等学校	工業（電子機械）部	自動制御の知識・技術を高めるため、自律型ロボットによるプログラミングの制御技術の向上に努めてえる。昨年は WRO（自律型ロボットによる国際的なロボットコンテスト）の東海地区大会に参加し、3位となり優秀賞を受賞した。今年は全国大会出場と上位入賞を目指す。	370 千円
34	帝京大学可児高等学校中学校	吹奏楽部	中学生と高校生の合同バンドとして中学1年生から高校2年生までが一緒に活動。近年は学校内での演奏活動にとどまらず、地域のイベントにも数多く出演。「心ひとつに、助け合って活動する」をモットーに、より質の高い音を求めて、ほとんど毎日練習に励んでいる。	900 千円
計	28 校	34 部		18,900 千円

(2) 地域振興イベント

No	団体	イベント	支援金額
1	恵那市少年少女合唱団	県内少年少女合唱団の草分け、岐阜県少年少女合唱フェスティバル参加	660 千円
2	恵那第九実行委員会	「再びの恵那第九」公演	1,000 千円
3	恵那市国際交流協会	オーストラリア派遣、ワールドカフェ 2018 開催	1,000 千円
計	3 団体		2,660 千円

以上